

ネット de アンケート

●食肉の購買意欲とイメージについてきく

牛肉、豚肉、鶏肉の畜産3品目の購買変化



昨年1年間は牛肉の販売不振がいわれ続けた年であった。その代わりに豚肉と鶏肉の販売が好調に推移しており、精肉売り場のメインアイテムの座を牛肉から奪った感も出てきている。近畿圏はとくに牛肉中心の食文化を築いてきたが、現在では豚肉の売り上げが牛肉を上回っている量販店も多数見受けられるような状況になってきている。さらに牛肉には向かい風ともいえる不況風が吹き始めているいま、牛肉の販売はさらに苦境に立たされると予想される。そこで今回のネットアンケートでは牛、豚、鶏の購買状況について、アンケートを行ってみた。また合わせてそれぞれの食肉がもつイメージについてもきいてみた。全体と回答割合の高かった都道府県別にアンケートの回答をみてみよう。

有効回答数は928件。男女の比率は男性45.8%、女性54.2%。年代別には30代の割合が一番高く30.8%。次いで40代(23.8%)、20代(20.3%)の順となっている。また都道府県別は東京(14.9%)、神奈川(8.1%)、大阪(7.6%)、愛知(6.1%)、千葉(5.3%)が上位5県となった。

Q1 通常日のお肉の購買に優先順位を付けると？

トップに豚肉、不振の牛肉は3位へ

このアンケートをみる限りでは、牛肉よりも豚肉の方が購買の優先順位が高いという結果になった。一番回答割合が高かったのが「1位豚肉 2位鶏肉 3位牛肉」で42.6%と半数近い数字になっており、同じ豚肉を1位としている「1位豚肉 2位牛肉 3位鶏肉」の割合と合わせると60%を超える人が優先順位の1番に豚肉を考えているということになる。牛肉のそれとを比較してみると3倍以上の数字となっており、鶏肉のそれよりも低い数値となっている。やはり牛肉の販売不振はこのアンケートからもみることが出来るようだ。

都道府県別にみてもみる。

東京は、全体の割合とほぼ変わらない数値であったが、神奈川では牛肉を優先購買の1位にもって

きている人が10.9%と低くなっており、その分豚肉、鶏肉が全体の平均値よりも高くなっている。大阪は全体と比較した場合牛肉1位の割合が高くはな

っているが、それでも16.7%と2割にも満たない数値となっており、豚肉の1位とはやはり3倍以上の差がある。北海道は豚肉1位(80.4%)が顕著になっており、牛肉1位は2.2%と1割にもはるかに及ばない結果になっている。牛肉1位の割合が高かった県は関東では千葉

(22.9%)と関西では兵庫(30%)であるが、それでも両県とも豚肉1位(千葉62.5%、兵庫47.5%)の割合とは、かなりの差が出てしまっている。

Q1 通常日のお肉の購買に優先順位を付けると？

1位牛肉 2位豚肉 3位鶏肉	12.9%
1位牛肉 2位鶏肉 3位豚肉	2.6%
1位豚肉 2位牛肉 3位鶏肉	18.0%
1位豚肉 2位鶏肉 3位牛肉	42.6%
1位鶏肉 2位牛肉 3位豚肉	4.3%
1位鶏肉 2位豚肉 3位牛肉	19.6%

Q1 通常日のお肉の購買に優先順位を付けると？ ★東京

1位牛肉 2位豚肉 3位鶏肉	10.4%
1位牛肉 2位鶏肉 3位豚肉	3.0%
1位豚肉 2位牛肉 3位鶏肉	22.4%
1位豚肉 2位鶏肉 3位牛肉	36.6%
1位鶏肉 2位牛肉 3位豚肉	6.0%
1位鶏肉 2位豚肉 3位牛肉	21.6%

Q2 祝日や休日、特別な日のお肉の優先購買順位は？

“ハレの日”には、やはり牛肉を

かつて、牛肉はご馳走であった。すき焼きやしゃぶしゃぶなどが“ハレの日”に家庭で供されることが多く、いまでもその習慣は年始のご馳走として残っていると

もその習慣を強く感じることも出来る。1位となったのが「1位牛肉 2位豚肉 3位鶏肉」で55.5%と半数以上の支持を得ており、2位の「1位牛肉 2位鶏肉 3位豚肉」(15.3%)を合わせる



と7割以上の方が牛肉を1位にしていることになる。アンケートを

Q2 祝日や休日、特別な日のお肉の優先購買順位は？

1位牛肉	2位豚肉	3位鶏肉	55.5%
1位牛肉	2位鶏肉	3位豚肉	15.3%
1位豚肉	2位牛肉	3位鶏肉	8.2%
1位豚肉	2位鶏肉	3位牛肉	10.8%
1位鶏肉	2位牛肉	3位豚肉	2.7%
1位鶏肉	2位豚肉	3位牛肉	7.4%

Q3 1週間のうちに家庭でお肉を使った料理をつくる頻度は？

肉料理「週3回」が32%を占める

アンケートでは「週3回」の回答割合が一番高く32%と3割を超える支持を集めた。次が「週4回」の21.9%で「週2回」の13.4%が続く。しかし不況が進めば、外食を控えようという人が増えてきて、家庭での食事をする頻度も上がり、この数値にも変化が出てくるかもしれない。

都道府県別にみてみよう。
東京で1位になったのが「週3

みる限りでは、まだまだ、ハレの日では「牛肉を買いたい」と考えている人が多いようだ。
都道府県別にみてみよう。
東京でも1位に牛肉を上げた人が7割を超えており、圧倒的な支持

を得ている。神奈川、愛知、大阪も同様。しかし北海道は63.3%と7割には届かず、代わりに「1位豚肉 2位鶏肉 3位牛肉」が22.2%と全体の平均値よりも倍近い支持を集めている。牛肉1位の支持が高かったのが京都の83.4%で8割以上の方がハレの日に牛肉を優先的に買いたいと考えている。

った料理をほぼ毎日、テーブルに出すようだ。

大阪と北海道の「週3回」の回答割合（大阪39.7%、北海道39.1%）はともに4割近い数値となっており、「週4回」の回答割合と合わせると6割を超える。また福岡では「週4回」の回答が34.9%と一番支持を集めており、全体の平均値と比べると1割以上の差が出ている。

Q3 1週間のうちに家庭でお肉を使った料理を作る頻度は？

週1回	3.4%
週2回	13.4%
週3回	32.0%
週4回	21.9%
週5回	10.5%
週6回	2.3%
毎日	5.7%
まちまち	10.8%

が低くなった分どこにいったのかというと、「週5回」14.5%と「毎日」10.9%にいったようで、合わせると25%以上になる。このアンケート結果をみる限りでは、愛知では4分の1の人が肉を使

Q4 一番好きなお肉は？

兵庫に多い「牛肉が一番好き」

純粹に好きな肉をきいてみた。やはり牛肉の割合が一番高く35.5%と3割以上の人の支持を集めた。しかし豚肉のアイテムが増え

てきて、売り場に数多く並ぶような昨今の状況を考えると、この牛肉の支持割合も以前と比較した場合、低くなってきているのではな

Q4 一番好きなお肉は？

牛肉	35.5%
豚肉	25.4%
鶏肉	13.3%
それぞれ好き	24.5%
あまり好きじゃない	1.3%

Q4 一番好きなお肉は？

牛肉	23.9%	★北海道
豚肉	45.7%	
鶏肉	8.7%	
それぞれ好き	19.6%	
あまり好きじゃない	2.2%	

いだろうか。豚肉とはほぼ1割の差があるが、あと数年すれば、この順位も逆転されるのではないか。ただ、「あまり好きじゃない」という人の割合が、かなり低かったことは食肉販売にとってうれしいことである。
Q1の質問と合わせて考えてみる

と、「一番好きなのは牛肉だが、買うのは豚肉」という状況がみえてくる。やはり不況という現実が牛肉の購買意欲に水を差し、不利に働いているようだ。

都道府県別にみてみよう。

東京はほぼ、全体の平均値と変わらない割合となった。それは神奈川、大阪に関しても同じ。愛知は「豚肉」の割合が30.9%と3割を超え、その分、牛肉と鶏肉の割合が低くなっている。Q1、Q2と豚肉の支持が高かった北海道は、やはり「豚肉」の支持割合が高く、45.7%と半数近くまでになっている。

牛肉の割合が高かったのが兵庫で62.5%と6割以上の方が牛肉が一番好きという結果が出ている。千葉は牛肉と豚肉の支持割合がほぼ同数となっている。

Q5 あなたがもっている牛肉のイメージは？（複数回答可）

牛肉は「高いが、おいしい」

一番回答の割合が高かったのが「価格が高い」の84.6%で、実に8割以上の方が牛肉は、高いというイメージをもっていることになる。後述するがこの回答の割合は豚、鶏と比較した場合、圧倒的に高く、やはりここらあたりに牛肉

の販売不振の要因があると考えられる。次いで2位にきているのが「おいしい」の78.6%で、このアンケートの結果をみる限りでは「おいしいから好きだけど、高いから牛肉は買えない」という状況がいまに当てはめることが出来る

だろう。

さらに「カロリーが高い」という割合が牛肉は27.7%と3割近くあり、逆に「カロリーが低い」という回答は1.8%とかなり低い。この2つを豚と鶏の結果と比較した場合、その差は一目瞭然（りょうぜん）で、とくに鶏とはかなりの差が出ている。「メタボリック



症候群」や「糖分0」「微糖」などの言葉に代表されるように、最近では健康面からの商品販促も重要に

なっており、牛肉でも、健康面からうまく販促を行うことができれば、需要は伸びてくるのではないだろうか。

の定番メニュー以外の新たな料理提案が売り場できっちりなされれば、消費者の牛肉に対する購入意欲も上がってくるのではないだろうか。

Q5 あなたがもっている牛肉のイメージは？（複数回答可）

おいしい	78.6%
まずい	1.0%
カロリーが高い	27.7%
カロリーが低い	1.8%
価格が高い	84.6%
価格が安い	1.0%
料理用途が多い	25.3%
料理用途が少ない	8.3%
安心して買うことができる	6.1%
不信感がある	12.1%

さらに「料理用途が多い」という回答に目を向けてみると、牛肉は25.3%だったのに対して、豚、鶏はそれよりも高い支持を得ている。とくに豚肉との差は大きい。そこで、すき焼きや焼き肉、ステーキなど

都道府県別にみてみよう。東京は全体の平均値とほぼ変わらない割合であったが、唯一「カロリーが高い」という回答が18.7%と全体の平均値よりも低くなっている。大阪、愛知はともに「おいしい」の支持割合が8割を超えており、「価格が高い」の回答の支持割合が9割を超えた県が静岡県（96.2%）と宮城（91.3%）、京都（97.9%）

Q6 あなたがもっている豚肉のイメージは？（複数回答可）

豚肉は価格安と料理用途

牛肉と比較した場合の豚肉で、やはり目を引くのが「価格が安い」と「料理用途が多い」の2つの回答割合。ともに牛肉とは大きな差となっており、「おいしい」の支持割合がそれほど差がなかったことを考えると、牛肉と比べた場合、豚肉が人気を得ている要因がここにあるといえるのではないだろうか。カロリーに関してみれば「高い」も「低い」も支持割合にそれほど大きな差はなかった。ただ、これも牛肉と比較した場合、「カロリーが高い」という回答割

合は10%以上の差が出て、豚肉の方が低くなっている。都道府県別にみてみよう。これまで質問で豚肉の支持割合が高かった北海道では、「料理用途が多い」という回答が一番支持を得ており、82.6%と8割以上の方が豚肉に対して「料理用途が多い」とのイ

Q6 あなたがもっている豚肉のイメージは？（複数回答可）

おいしい	80.1%
まずい	0.5%
カロリーが高い	15.3%
カロリーが低い	18.1%
価格が高い	2.8%
価格が安い	62.3%
料理用途が多い	66.6%
料理用途が少ない	1.1%
安心して買うことができる	17.9%
不信感がある	2.2%

Q7 あなたがもっている鶏肉のイメージは？（複数回答可）

鶏肉は低カロリーと価格安

鶏肉のイメージの中でとくに目を引くのが「カロリーが低い」という回答の62.1%だろう。この数字を牛肉と比較した場合、実に30倍以上の差がある。1位の「おいしい」という回答は牛、豚、鶏ともに回答の割合が高いので、これをはじめとして考えてみた場合、鶏肉のイメージのベスト3は「価格が安い」「カロリーが低い」「料理用途が多い」の3つで、この3つはどれも牛肉とは大きな差となっている。

そして、この3つのイメージが鶏肉の好調な販売を支えている要因であるといえるのではないだろうか。しかし、言い換えれば現在、消費が滞っている牛肉に関しても、この3つのイメージを消費

者に抱かせることが出来れば、購買意欲も高まり、消費は伸びていくに違いない。都道府県別にみてみよう。福岡は「カロリーが低い」の回答割合が48.8%と低くなっている。料理方法によってもカロリーは変化するので、その印象も変わってくる。地域でよく食べられている料理で、この回答割合も少し上下するようだ。さらに福岡は「価格が安い」という回答が79.1%となっており、全体の平均値

よりも10%近く高くなっている。広島は「カロリーが低い」の回答が73.9%と全体の平均値よりも10%以上高くなっているが、それよりも高いのが「価格が安い」で65.7%と全体の平均値と比べた場合、30%近い差が出て、高くなっている。

Q7 あなたがもっている鶏肉のイメージは？（複数回答可）

おいしい	75.1%
まずい	1.7%
カロリーが高い	1.6%
カロリーが低い	62.1%
価格が高い	1.8%
価格が安い	69.3%
料理用途が多い	48.8%
料理用途が少ない	4.0%
安心して買うことができる	12.5%
不信感がある	2.8%